

大分県由布市にて、AIやIoTを活用して観光交通を分散させ、落ち着いた交通環境を創出する社会実験を実施

大分県 由布市

1. はじめに

大分県由布市は、年間約400万人が訪れる国内有数の温泉観光地であり、観光シーズンには多数の観光客が来訪します。観光客は、コロナ禍前まで年々増加傾向にあり、H30年には約440万人/年と過去最高を記録しました。特に外国人観光客の増加が顕著であり、約10年で20倍程度増加していたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、大幅に減少している状況です。

コロナ禍前の観光シーズンは観光客が多く、観光車両の集中による幹線道路の交通混雑や幹線道路への通過交通の流入等の交通渋滞が長年の課題となっていました。特にGWの渋滞が顕著で、県道216号では、観光エリアから湯布院IC付近まで渋滞が続きます。また、観光エリア内の市道は幅員が狭く、駐車場が多数点在するため、観光車両がエリア内に進入し、渋滞が発生しています。その結果、地域住民の生活や緊急車両の通行に支障をきたすとともに、観光エリア内においては、徒歩で観光する方々の安全性が低下しています。

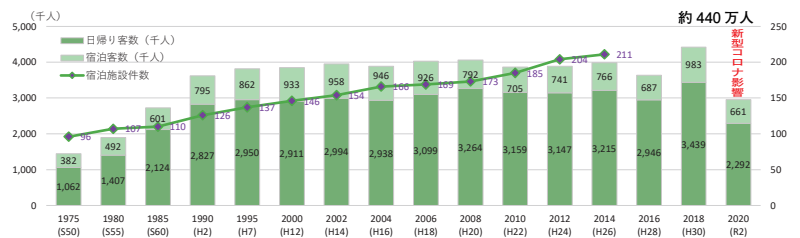


図 由布市観光客数（日帰り・宿泊）・宿泊施設件数

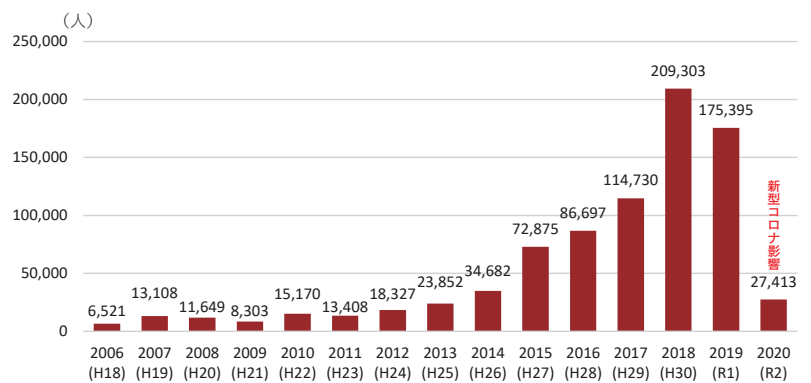


図 由布市外国人宿泊客数

資料：由布市観光統計（S50～H18）、由布市「観光動態調査」（H22～R2）



図 由布院周辺の交通状況

今回、令和3年8月に国土交通省道路局の「道路に関する新たな取り組みの現地実証実験」に採択されたことから、「ゆふいんの落ち着いた交通環境をつくろうプロジェクト協議会」主催でAIやIoTを活用して観光交通を分散させ、落ち着いた交通環境を創出する試みをGW期間中(2022年4月29日～5月8日)に実施しました。ゆふいんの落ち着いた交通環境をつくろうプロジェクト協議会は、由布市、(一社)由布市まちづくり観光局、湯布院自治委員会、湯布院岳本地区大型バス交通緩和対策連絡会議、九州旅客鉄道株式会社 由布院駅、(一社)地域力創造デザインセンター、道の駅ゆふいん、由布市商工会 湯布院支部、大分県大分南警察署 湯布院幹部交番、大分河川国道事務所、大分県大分土木事務所、(株)ネクストワン、(株)建設技術研究所で構成されています。

2. 実験内容

GW 実施期間中の社会実験は、以下3つのメニューに取組みました。

◆観光エリアの混雑状況を把握するAIカメラの設置

適切な箇所を選定し、AIカメラを設置することで混雑状況を把握

◆渋滞情報及び迂回路案内に関する情報発信

混雑箇所の迂回路情報等を道の駅やデジタルサイネージで発信

◆交通手段を分散する観光エリア周辺のパーク&ライド

5月3日から5日に由布院郊外臨時駐車場で自家用車等から中心部までをグリーンスローモビリティ「ノルク」(電動モビリティ)で乗換えて移動



図 AIカメラ



図 デジタルサイネージ



図 パーク&ライド



図 特設WEBサイト



図 実験のインプット・アウトプットイメージ



図 迂回誘導経路・AIカメラ設置箇所

3. 広報周知

今回の社会実験に関する情報を多くの方に周知するため、チラシ、ポスターをはじめ、由布市 HP やラジオ等を活用した広報を展開しました。



図 チラシ (左; 表面、右; 裏面)

図 立て看板



図 由布市 HP バナー



図 ラジオ周知 PR

4. キックオフイベント

P & R 実験開始の5月3日には、キックオフイベントが開催され、「ゆふいんの落ち着いた交通環境をつくろうプロジェクト協議会」メンバー等の関係者が出席しました。テープカットやグリーンスローモビリティ試乗を行うなど、実験成功に向けて関係者の結束を更に強めました。



図 キックオフイベントの様子

5. GW 期間中の実施状況

今回、AI カメラで取得した交通情報を、特設 WEB サイト・デジタルサイネージにてリアルタイムに情報発信を実施しました。迂回誘導においては、道の駅ゆふいんでの情報発信効果が大きく、足を止めてデジタルサイネージやポスター・チラシを閲覧する来訪者が多く見られました。

観光エリア周辺の P&R としては、グリーンスローモビリティ「ノルク」を活用し、駐車場とまちなかの二次交通を確保しました。ノルクの乗車希望者が多く、利用者数はのべ 500 人以上となり、さらには 5/4（水・祝）昼ピーク時に駐車場が満車となるなど、非常に多くの方に利用されました。また、ノルク乗車に際して、待ち時間が発生したため、徒歩でまちなかまで移動される方も多くおりましたが普段と違う湯布院の風景を見ながらのんびり歩くことにも楽しさを感じて頂きました。

また、駐車場や道の駅にスタッフを配置し、社会実験の案内や地図の配布、ノルク乗車のお手伝いなど、おもてなしを実施しました。利用者アンケート調査結果では、混雑を避けることが出来てよかったなど、満足度も高い結果となりました。



図 駐車場の利用状況



図 おもてなしの実施状況

6. 今後の予定

GW 期間中の社会実験は多くの方々に広く周知することができた一方で、社会実験について知らなかったという意見もありました。今後、9月のシルバーウィークに向けて取組み改善を図り、更なるデータ検証を行っていく予定です。